

かとうぜきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成22年8月1日号 (No.61)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

今回は、国道289号 八十里越工事からの土砂の搬入、左岸堤防盛土と管路敷設工事についてお知らせします。

はちじゅうりごえ 国道289号 八十里越工事からの土砂搬入について

これまでに河道を掘削した土砂については、ちゅうじょうしんてん長岡市中条新田地区やにいほりこうの燕市新堀向野地区に仮置きしています。この土砂は、今後施工予定の可動堰上流部の河道掘削と合わせ、右岸の高水敷造成に使用することとしています。今回、右岸高水敷造成のための土砂の一部について土砂の有効利用の観点から他事業で発生する土砂を当事業で受け入れることにしましたので紹介します。

今回受け入れる土砂は、長岡国道事務所が実施している国道289号八十里越のトンネル工事で発生する岩砕です。岩砕とは、原石を発破等で破碎したもので、盛土材として適しているのは勿論、右岸の高水敷造成にも使用できることから建設発生土の有効利用が図られます。

この土砂の運搬は、平成22年9月末日まで予定しており、時間は、通勤・通学時間帯を避けた日中に行います。また、ダンプトラックの一般道路への出入口には交通誘導員を配置して安全確保に努め、一般車両の通行を優先します。土砂運搬に伴い周辺の皆様方にはご迷惑をおかけしますが、安全を最優先に行いますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

プレート①



国土交通省
長岡国道事務所
289号 工事用車両



AK-7
(株)曙建設

プレート②

土砂運搬車両には上記プレート①、②を掲示しています。お気づきの点がございましたら、以下までご連絡をお願いします。

(株)曙建設 (トンネル工事の施工業者)
(TEL) 0258-32-4120



左岸堤防盛土と管路敷設工事について

可動堰関連工事は、台風などの大雨により洪水発生危険性が高い時期（出水期）になったため、仮締切内の工事については7月から一時中断しています。洪水の流下に支障を及ぼさない箇所での工事を実施しています。

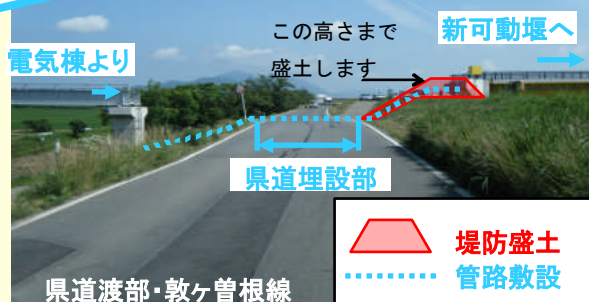
左岸堤防盛土工事

新可動堰完成後、堰の管理用車両が管理橋に乗り入れるために必要な堤防の盛土（嵩上げ）工事です。



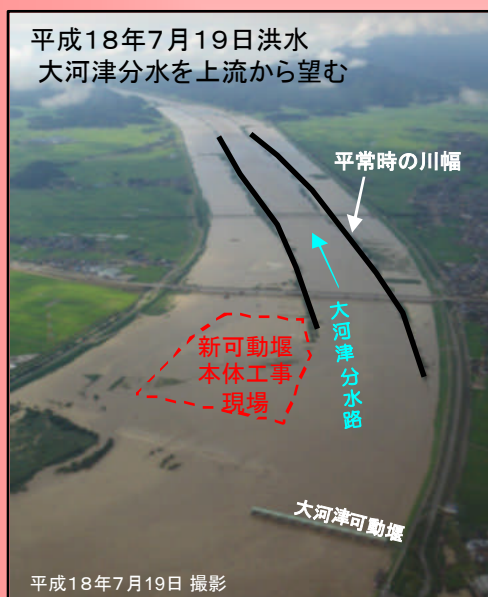
管路敷設工事

電気棟から管理橋までΦ50～125mmの管路を敷設します。後にこの管路内に可動堰ゲートとその他の設備機器に電力を供給するケーブルを設置します。



河川の増水に注意

平成18年7月19日洪水
大河津分水を上流から望む



7月から9月末までの期間は、1年を通じて降水量が多く、梅雨が過ぎても台風等大雨により洪水が起こりやすい時期です。

信濃川河川事務所では、洪水を安全に流せるように河川事業を進めています。しかし、整備にはまだ多くの時間がかかるため、万が一に備え、すぐに避難出来る準備をしておかなければいけません。

国土交通省では、雨量や河川の水位などの洪水に関する情報をインターネットで公開していますので、是非ご利用下さい

パソコンからの《川の防災情報》

<http://www.river.go.jp/>

携帯電話からの《川の防災情報》

<http://i.river.go.jp/>



”QRコード”

大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧頂けます。また、バックナンバーも合わせてご覧頂けます。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>」です。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。

0258-32-3134（平日 AM9:00～PM4:00）

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121（建設監督官在所）
大河津出張所 : 大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官（可動堰改築担当）: 大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>